

プログラム一覧

学会長講演	67
特別講演1～7	72
教育講演1～3	75
メインシンポジウム1～5	77
シンポジウム1～57	90
地方衛生研究所研修フォーラム	222
奨励賞受賞講演1～4	224
優秀演題賞選考会1～13	226
国際参加賞受賞講演1～9	233
公開シンポジウム	237
ランチョンセミナー1～10	240
スポンサーセッション	247
一般演題一覧	249

プログラム

学会長講演

10月31日（火） 11:10～11:50 第1会場（Leo Esaki メインホール）

公衆衛生とヘルスサービスリサーチ－30年の振り返りとこれから

座長：玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室）
演者：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

特別講演1

10月31日（火） 10:00～10:30 第1会場（Leo Esaki メインホール）

茨城県における保健医療分野での取組

座長：曾根 智史（国立保健医療科学院）
演者：森川 博司（茨城県保健医療部）

特別講演2

10月31日（火） 10:35～11:05 第1会場（Leo Esaki メインホール）

大学・国研連携型スーパーサイエンスシティの挑戦

座長：中山 秀之（つくば市政策イノベーション部スマートシティ戦略監）
演者：鈴木 健嗣（筑波大学）

特別講演3

10月31日（火） 13:20～14:00 第1会場（Leo Esaki メインホール）

わが国第一号の公衆衛生大学院創設と医療の質の評価・改善、その経緯と現状

座長：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）
阿部 智一（筑波記念病院救急科）
演者：福井 次矢（東京医科大学茨城医療センター）

特別講演4

11月1日（水） 9:45～10:25 第1会場（Leo Esaki メインホール）

制度として収集された医療介護リアルワールドデータの公益利用の現状と課題

座長：今中 雄一（京都大学社会健康医学系専攻医療経済学）
演者：山本 隆一（一般財団法人医療情報システム開発センター）

特別講演5

11月1日（水） 8:30～9:10 第6会場（中ホール 300）

地域医療から公衆衛生、そしてグローバルヘルスへ：100カ国以上で働き、学んだこと

座長：山本 秀樹（帝京大学薬学部環境衛生学研究室（大学院公衆衛生学研究科））
演者：國井 修（公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金）

特別講演6

11月1日（水） 16:10～16:50 第6会場（中ホール 300）

ひきこもりと対話的支援

座長：太刀川弘和（筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学）
演者：斎藤 環（筑波大学医学医療系）

特別講演7

11月2日(木) 13:10~13:50 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

公衆衛生のデジタルトランスフォーメーション (Dx)

座長：岩上 将夫 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

演者：落合 陽一 (筑波大学図書館情報メディア系/デジタルネイチャー開発研究センター)

教育講演1

10月31日(火) 15:30~16:30 第2会場 (大会議室)

COVID-19への対応

座長：前田 秀雄 (公益財団法人結核予防会)

演者：大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター国際感染症センター)

教育講演2

11月1日(水) 15:00~16:00 第6会場 (中ホール 300)

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム

座長：佐々木恵美 (茨城県精神保健福祉センター)

演者：藤井 千代 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

教育講演3

11月2日(木) 12:00~13:00 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

COVID-19とデータ報道：社会へのデータ発信における教訓と課題

座長：武田 文 (筑波大学体育系健康教育学領域)

演者：萩原 和樹 (Google News Lab)

メインシンポジウム1

10月31日(火) 14:10~15:40 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

公衆衛生大学院の今

座長：武林 亨 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)

山本 秀樹 (帝京大学薬学部環境衛生学研究室 (大学院公衆衛生学研究科))

演者：公衆衛生系大学院における人材育成をめぐる議論

橋本 英樹 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻)

なぜ、公衆衛生の専門職は公衆衛生の専門職大学院で学ばないのか？

福田 吉治 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

新たな公衆衛生専門職大学院が目指すもの

山本 尚子 (国際医療福祉大学大学院)

池田 俊也 (国際医療福祉大学大学院)

メインシンポジウム2

10月31日 (火) 15:50~17:20 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

ヘルスサービスリサーチとは何か

座長：田宮菜奈子 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)
東 尚弘 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)

演者：適切なサービス提供のために必要な研究—発想と概念
田宮菜奈子 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

ヘルスサービス研究とは何か

東 尚弘 (東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)

医療介護複合データを用いた HSR の実践事例

松田 晋哉 (産業医科大学医学部公衆衛生学教室)

平時からのヘルスセキュリティと研究基盤強化

今中 雄一 (京都大学社会健康医学系専攻医療経済学)

米国ヘルスサービスリサーチの動向と日本への示唆

村松 尚子 (University of Illinois Chicago School of Public Health)

健診・レセプト情報を用いたヘルスサービスリサーチ

康永 秀生 (東京大学大学院医学系研究科臨床疫学・経済学)

メインシンポジウム3

11月1日 (水) 13:20~14:50 第6会場 (中ホール 300)

ウイズコロナ、ポストコロナの戦略

座長：中島 一敏 (大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科)
前田 秀雄 (公益財団法人結核予防会本部)

演者：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) からの教訓と、新たな新興感染症への備え
押谷 仁 (東北大学大学院医学系研究科微生物学分野)

パンデミックにおける医療体制 ～この経験をどう生かすのか～

今村 顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

地域包括ケアの立場から—訪問看護師が考える訪問診療と訪問看護の協働した支援—

平原 優美 (公益財団法人日本訪問看護財団)

リスクコミュニケーション—リスクを共考し、協働する—

奈良由美子 (放送大学大学院文化科学研究科生活健康科学プログラム)

メインシンポジウム4

11月1日（水） 10:30~12:00 第1会場（Leo Esaki メインホール）

公的医療介護データの公衆衛生への利活用ーデータリンケージを中心に

座長：近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）
野口 晴子（早稲田大学政治経済学術院）

演者：公的統計はじめ統計データの利活用促進、データリンケージ等の動向
国光あやの（衆議院議員、前総務大臣政務官）

ビデオ Approach to record linkage of primary care data from Clinical Practice Research Datalink to other health-related patient data: overview and implications
Susan Hodgson (Clinical Practice Research Datalink (CPRD), Medicines and Healthcare products Regulatory Agency, UK)

ビデオ NCHS Data Linkage Program from the CDC: Leveraging Linked Survey Data for Evidence-based Decision Making
Cordell Golden (Chief, Data Linkage Methodology and Analysis Branch, National Center for Health Statistics, Centers for Disease Control and Prevention)

NDBの利活用拡大に向けたデータリンケージの方向性及び最近の動向
鈴木 里彩（厚生労働省保険局医療介護連携政策課保険データ企画室）

メインシンポジウム5

11月2日（木） 10:10~11:40 第1会場（Leo Esaki メインホール）

いばらき発、全国、世界に広がるコホート研究の沿革、エビデンスと展望

座長：玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室）
山岸 良匡（筑波大学医学医療系社会健康医学）

演者：職域と地域で進めるコホート研究の実際
中川 徹（株式会社日立製作所日立健康管理センタ）

茨城県健康研究の歩み
入江ふじこ（茨城県土浦保健所）

茨城県筑西市での予防対策を基盤とした疫学研究
山岸 良匡（筑波大学医学医療系社会健康医学）

データに基づいた健康増進: the Mito Health Community Study
我妻ゆき子（筑波大学医学医療系臨床試験・臨床疫学）

シンポジウム1

10月31日(火) 9:50~10:40 第2会場(大会議室)

健康危機管理の拠点として求められる保健所の機能

座長：白井 千香(枚方市保健所)
尾島 俊之(浜松医科大学)

演者：健康危機に対応する保健師等地域保健専門職の人材育成
山下 十喜(広島県健康福祉局健康づくり推進課)

日常と災害時をシームレスにつなぐ「これからの保健所」建築
小林 健治(摂南大学理工学部)

コロナ禍での医療・介護提供体制の構築と保健所の役割について
逢坂 悟郎(兵庫県加東保健所)

健康危機管理の拠点である保健所は何を準備しておくべきか
永井 仁美(大阪府茨木保健所)

シンポジウム2

10月31日(火) 10:45~11:55 第2会場(大会議室)

がん検診の利益・不利益に関する知識を共有するために

座長：斎藤 博(青森県立中央病院)
松坂 方士(弘前大学医学部附属病院医療情報部)

演者：スクリーニングに関する出版物(WHO教科書的資料の翻訳)の紹介
松坂 方士(弘前大学医学部附属病院医療情報部)

がん検診の知識普及動画(一般向け)の紹介
田中 里奈(弘前大学大学院医学研究科医学医療情報学講座)

スクリーニングに関する教育的動画(専門家向け)の紹介
雑賀公美子(佐久総合病院佐久医療センター総合医療情報センター、弘前大学大学院医学研究科)

がん検診の評価指標の「可視化プロジェクト」ー精検受診率についてー
齊藤 英子(国際医療福祉大学三田病院予防医学センター)

シンポジウム3

10月31日(火) 13:20~14:10 第2会場(大会議室)

エンパワメント技術を用いたアクションリサーチ：研究と実践のシナジー促進に向けて

座長：安梅 勅江(筑波大学医学医療系国際発達ケア:エンパワメント科学研究室)

演者：継続的運動支援システムを活かした高齢者健康支援エンパワメント
奥村 理加(飛鳥村役場民生部福祉課)
澤田 優子(森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部理学療法学科)

住民主体の地域づくりエンパワメント
渡邊多恵子(淑徳大学看護栄養学部)

ロボットAIを活用したエンパワメント
酒寄 学(社会福祉芳香会社会福祉研究所)

子どもの健康と環境に関する調査研究からのエンパワメント
篠原 亮次(山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター)

シンポジウム4

10月31日 (火) 14:15~15:25 第2会場 (大会議室)

携帯電話を用いた感染症対策技術の発展に向けて

座長：齋藤 智也 (国立感染症研究所感染症危機管理研究センター)
高橋 邦彦 (東京医科歯科大学 M&D データ科学センター)

演者：シミュレーション評価
市川 学 (芝浦工業大学)

接触確認アプリの技術評価
奥村 貴史 (北見工業大学工学部)

次世代接触確認アプリの国内研究開発動向
網 淳子 (東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻)

COCOA の導入経緯と運用実態
上原哲太郎 (立命館大学情報理工学部)

シンポジウム5

10月31日 (火) 9:50~10:40 第3会場 (中ホール 200)

VUCA 時代の医師の確保・育成：公衆衛生学を見据えた医学教育からキャリアへの展開

座長：磯 博康 (国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター)
今中 雄一 (社会医学系専門医協会／京都大学社会健康医学系専攻医療経済学)

演者：厚生労働科学研究から
和田 裕雄 (順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学)

医学教育における社会医学、そして社会医学としての医学教育学
錦織 宏 (名古屋大学大学院医学系研究科総合医学教育センター)

新専門医制度の歴史と今後の課題
渡辺 毅 (一般社団法人日本専門医機構)

VUCA 時代のヘルスセキュリティ：社会医学と臨床医学の継ぎ目無い融合
今中 雄一 (社会医学系専門医協会／京都大学社会健康医学系専攻医療経済学)

シンポジウム6

10月31日 (火) 10:45~11:55 第3会場 (中ホール 200)

地域における自殺対策

座長：伊藤 弘人 (東北医科薬科大学医学部医療管理学)
堤 明純 (北里大学医学部公衆衛生学単位)

演者：秋田発高齢者の孤立を防ぐ社会処方の実装～社会的処方・厚生労働省モデル事業～
野村 恭子 (秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座)

うつ病診療連携による自殺対策-多職種連携による地域ネットワークの構築-
内村 直尚 (久留米大学)

日本で“最も”自殺の少ない町からの学び
岡 檀 (統計数理研究所医療健康データ科学研究センター)

シンポジウム7

10月31日(火) 13:20~14:50 第3会場(中ホール 200)

予防・健康づくりサービス評価手法の最前線

座長：近藤 尚己(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野)
今中 雄一(京都大学社会健康医学系専攻医療経済学)

演者：予防健康づくりサービスの介入集団はどう選定すべきか?~AIによる異質性評価~
井上 浩輔(京都大学白眉センター、京都大学大学院医学研究科社会疫学)

アウトカムワイド疫学：口腔の健康と全身の健康との関連を検証した実証研究
木野 志保(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野)

予防・健康づくりプログラムの多面的評価の可能性
慎 重虎(京都大学大学院医学研究科医療経済学分野)

経産省の予防・健康づくりに向けた取り組み
小柳 勇太(経済産業省ヘルスケア産業課)

シンポジウム8

10月31日(火) 9:50~10:40 第4会場(会議室 201)

後期高齢者健康づくり質問票作成の試みと保健事業評価研究

座長：眞崎 直子(聖マリア学院大学看護学部)
田中 貴子(聖マリア学院大学)

演者：福岡県後期高齢者医療広域連合での後期高齢者健康づくり質問票作成の試み
永尾 純(福岡県後期高齢者医療広域連合健康企画課)

後期高齢者健康づくり質問票作成と保健事業評価を全庁的に取り組んでみての影響
藪内 真由(大刀洗町役場)

後期高齢者質問票作成と保健事業評価を全庁的に取り組む支援を大学として実施して
眞崎 直子(聖マリア学院大学看護学部)

地域の健康課題への新たな取り組みと評価の視点
鈴木 寿則(仙台白百合女子大学)

シンポジウム9

10月31日(火) 10:45~11:55 第4会場(会議室 201)

地域共生社会に向けた多様な世代間交流プログラムの評価と展開

座長：藤原 佳典(東京都健康長寿医療センター研究所)
亀井 智子(聖路加国際大学大学院看護学研究科)

演者：地域の子育て世代と中高年の多世代交流型水引講座の評価と課題
糸井 和佳(帝京科学大学医療科学部看護学科、大内病院東京都認知症疾患医療センター)

高齢者と若者の世代を超えたつながりを育む異世代ホームシェアの可能性
川崎 一平(京都橘大学健康科学部、静岡大学創造科学技術大学院)

国内外の多様な多世代交流の事例と手法の紹介
倉岡 正高(東京都健康長寿医療センター研究所)

シンポジウム10

10月31日(火) 13:20~14:50 第4会場(会議室 201)

採用・育成・活躍に結びつく！人材育成における大学と行政のシナジー

座長：白井 千香(枚方市保健所)

杉山 雄大(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野、国立国際医療研究センター研究所
糖尿病情報センター、国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政
策研究センター)

演者：地域内での公衆衛生学教室と公衆衛生行政との連携

町田 宗仁(国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部)

秋田大学における公衆衛生医師の育成に向けた学部教育の実践

野村 恭子(秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座)

全国保健所長会の公衆衛生医師確保・育成事業と、それを模倣した地元大学との協働事業

横山 勝教(香川県東讃保健所)

産官学連携での人材育成・共創の最前線

榎原 洋平(株式会社リンクアンドモチベーション、一般社団法人エッジソン・マネジメント協会)

シンポジウム11

10月31日(火) 15:00~16:30 第4会場(会議室 201)

地域共生社会と包括的災害保健医療福祉対策：点から面へ「公衆衛生と地域福祉の融合」

座長：松本 良二(前千葉県香取保健所、植草学園大学、成田リハビリテーション病院)

石田久美子(茨城県竜ヶ崎保健所)

演者：茨城県における災害時透析医療ネットワーク

斎藤 知栄(筑波大学医学医療系腎臓内科学)

香取広域における医療的ケア児の災害対策～「地域づくり」の発想から～

辻内沙由里(社会福祉法人ロザリオの聖母会香取障害者支援センター)

なぜ「災害ケースマネジメント」が必要か

菅野 拓(大阪公立大学大学院文学研究科)

命を繋ぐ災害復興法学のすすめ-公衆衛生と被災したあなたを助けるお金とくらしの話

岡本 正(銀座パートナーズ法律事務所)

古河市における避難行動要支援者の個別避難計画の作成促進

吉崎佳代子(古河市福祉部高齢介護課)

大規模災害に備えたタイムライン防災の提案

松尾 一郎(東京大学大学院情報学環)

災害時の公衆衛生支援と福祉：保健所の調整機能と福祉領域との接点・課題を中心に

服部希世子(熊本県人吉保健所)

シンポジウム12

10月31日(火) 9:50~10:40 第5会場(会議室 202)

日本における難聴・聴力障害～領域横断的な対策に向けて

座長：猪原 秀典(大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)
梅澤 光政(獨協医科大学医学部)

演者：公衆衛生から考える聴力と難聴
梅澤 光政(獨協医科大学医学部)

補聴器の認知機能への効果

内田 育恵(愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科、国立長寿医療研究センター耳鼻いんこう科)

難聴は中年期における認知症の最大リスク！

佐治 直樹(国立長寿医療研究センターもの忘れセンター)

聴力評価を介した公衆衛生学と耳鼻咽喉科学との連携強化を目指して

和佐野浩一郎(東海大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

シンポジウム13

10月31日(火) 10:45~11:55 第5会場(会議室 202)

総合政策型「健幸まちづくり」 健康政策と都市政策の連携で健康無関心層をカバーする

座長：大澤 絵里(国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部)
久野 譜也(筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター)

演者：健幸まちづくりを実現するための健康無関心層の類型化と政策パッケージ
田邊 解(筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター、筑波大学体育系)

都市施策と健康施策の連携

山田 大輔(国土交通省都市局まちづくり推進課)

総合政策のメリット&エビデンス&連携のコツ

塚尾 晶子(つくばウエルネスリサーチ)

都市政策を含めた健康増進計画策定の必要性

寺田 皓介(京都府八幡市役所健康福祉部健康推進課)

シンポジウム14

10月31日(火) 9:50~10:40 第6会場(中ホール 300)

がん検診における Shared Decision Making (共同意思決定)

座長：濱島ちさと(帝京大学医療技術学部看護学科保健医療政策学分野)
中山 富雄(国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部)

演者：Shared Decision Making (共同意思決定) に基づく Nurse Navigation の実践
山崎 恭子(帝京大学医療技術学部看護学科)

Shared Decision Making (共同意思決定) の普及に向けた研修

細野 覚代(国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部)

システムティックレビューに基づくがん検診における Shared Decision Making の検証

寺澤 晃彦(藤田医科大学医学部救急医学・総合内科学)

がん検診における Shared Decision Making (共同意思決定) に向けた情報提供のあり方

渡邊 清高(帝京大学医学部内科学講座腫瘍内科)

シンポジウム15

10月31日(火) 10:45~11:55 第6会場(中ホール 300)

「保健所とプライマリ・ケアとの協働」とは？

座長：町田 宗仁(国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部)
近藤 久禎(国立病院機構本部DMAT事務局)

演者：新型コロナウイルス感染症対応における保健所と医療機関の連携
藤田 利枝(長崎県県央保健所)

目指せ！急性期医療とコロナ診療の両立 ～改めて感じた医療連携の大切さ～
和泉 泰衛(国立病院機構長崎医療センター総合診療科・総合内科)

新型コロナウイルス対応において、保健所がやっていたこと
剣 陽子(熊本県菊池保健所)

新型コロナウイルス感染症流行におけるプライマリ・ケア
中山久仁子(医療法人メファ仁愛会マイファミリークリニック蒲郡)

シンポジウム16

10月31日(火) 9:50~10:40 第7会場(会議室 405)

学校を核とした生涯にわたる健康づくり

座長：甲田 勝康(関西医科大学医学部)
山縣然太郎(山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座)

演者：成育基本法の施行及び子ども家庭庁設置で学校保健はどう変わるか
山縣然太郎(山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座)

学校健診情報の電子化における利活用と課題
森岡 郁晴(和歌山県立医科大学保健看護学部)

学校保健と地域が連携した生活習慣病予防健診
古川 照美(青森県立保健大学健康科学部看護学科)

シンポジウム17

10月31日(火) 10:45~11:55 第7会場(会議室 405)

パーソナルウェルビーイングの先進社会を目指して

座長：橘 とも子(国立保健医療科学院保健医療情報政策研究センター)
岩室 紳也(ヘルスプロモーション推進センター[オフィスいわむろ]、陸前高田市ノーマライゼーション大使)

演者：パーソナル・ヘルス・レコード(PHR)を活用した健康づくり政策の実装について
橘 とも子(国立保健医療科学院保健医療情報政策研究センター)

生涯型パーソナルヘルスレコードの普及に向けた取組み～産官学連携の事例紹介～
立山由紀子(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野)

病みのセルフマネジメント
岡谷 恵子(特定非営利活動法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会)

慢性症状と共にある就労生活を文化と捉えたモニタリング方法
丸谷 美紀(国立保健医療科学院)

シンポジウム18

11月1日(水) 8:30~9:40 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

身の回りに潜む健康リスクと我が国の安全管理への取組【国立保健医療科学院企画】

座長：牛山 明 (国立保健医療科学院生活環境研究部)
戸次加奈江 (国立保健医療科学院生活環境研究部)

演者：室内空気質
金 勲 (国立保健医療科学院)

身の回りに潜む健康リスクと我が国の安全管理への取組～電磁波
多氣 昌生 (情報通信研究機構電磁環境研究室、東京都立大学システムデザイン学部)

玩具の使用による健康被害の防止に向けた我が国の安全管理
戸次加奈江 (国立保健医療科学院生活環境研究部)

水・環境中の有機フッ素化合物 (PFAS)
中山 祥嗣 (国立環境研究所環境リスク・健康領域エコチル調査コアセンター)

シンポジウム19

11月1日(水) 8:30~9:20 第2会場 (大会議室)

第4期特定健診・特定保健指導の要点と課題

座長：中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)
岡村 智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)

演者：第4期特定健診・特定保健指導の見直しの概要
田邊 和孝 (厚生労働省健康局健康課)

特定健診・保健指導の理念の原点と今後の展開
津下 一代 (女子栄養大学)

標準的な健診・保健指導プログラムの健診項目・質問項目に関する主な変更点
平田 あや (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)

標準的な健診・保健指導プログラムの保健指導に関する主な変更点
杉田由加里 (千葉大学大学院看護学研究院)

シンポジウム20

11月1日(水) 9:30~10:20 第2会場 (大会議室)

身体活動・座位指標を公衆衛生研究に利用するために押さえておきたいポイントと課題

座長：井上 茂 (東京医科大学公衆衛生学分野)
小野 玲 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部)

演者：日本と主要諸外国の国を代表するサーベイランス調査の身体活動・座位行動調査法の比較
中潟 崇 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部)

公衆衛生に活かす身体活動評価法の基礎と実践
笹井 浩行 (東京都健康長寿医療センター研究所)

座位行動測定の公衆衛生場面における現状と課題
小野 玲 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部)

シンポジウム21

11月1日（水） 10:30～11:40 第2会場（大会議室）

こども家庭庁で母子保健はどうなるか

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
上原 里程（国立保健医療科学院）

演者：母子保健行政の最近の動向について
木庭 愛（こども家庭庁成育局母子保健課）

母子保健の力は将来に起こる問題の予防
佐藤 拓代（母子保健推進会議）

こども家庭庁における成育医療等基本方針と健やか親子21
山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

シンポジウム22

11月1日（水） 13:20～14:10 第2会場（大会議室）

ケアをとりまく家族の今とこれからの支援を考える

座長：森山 葉子（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）
涌井 智子（東京都健康長寿医療センター研究所、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）

演者：ケアをとりまく家族の多様化の現状とテラーメイド支援の可能性
涌井 智子（東京都健康長寿医療センター研究所、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）

介護者の健康の多様性

宮脇 敦士（東京大学大学院医学系研究科ヘルスサービスリサーチ講座、東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）

ケアを担う現役世代家族の実態と必要な支援の検討

森山 葉子（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）

多様化する病気・障がいのある子どもと家族と子育て

松澤 明美（北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野小児看護学教室）

シンポジウム23

11月1日（水） 14:15～15:45 第2会場（大会議室）

薬事 DX で公衆衛生はどう変わるか

座長：稲葉 静代（岐阜県岐阜保健所）
澁谷いづみ（愛知県瀬戸保健所）

演者：オンライン服薬指導の展望と課題
馬場 克典（日本調剤株式会社）

地域医療情報ネットワーク「はたまるねっと」を活用したオンライン服薬指導の現状
岩本 桃子（大井田病院、大阪医科薬科大学附属病院総合診療科）

高知県の中山間地域における ICT を活用した診療提供体制の整備
谷口亜裕子（高知県幡多福祉事務所）

シンポジウム24

11月1日(水) 8:30~9:40 第3会場(中ホール 200)

自治体職員と研究者が織りなす公衆衛生の有機的美装—認識の「みぞ」を乗り越える

座長：黒田 直明(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部、つくば市保健部、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)
森山 葉子(国立保健医療科学院)

演者：研究者と自治体の「みぞ」を読み解く

黒田 直明(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域精神保健・法制度研究部、つくば市保健部、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)

自治体と公衆衛生研究者の協働によるEBPMの実践

後藤 温(横浜市立大学医学部公衆衛生学教室)

つくば市、国立国際医療研究センター、筑波大学の協働による糖尿病患者体験調査の経験

杉山 雄大(国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

報告書から実装へ、研究から実務への橋渡し：千葉県山武市の転倒骨折予防プロジェクト

陣内 裕成(日本医科大学医学部衛生学公衆衛生学、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター、東京都健康長寿医療センター研究所)

シンポジウム25

11月1日(水) 9:50~10:40 第3会場(中ホール 200)

健康寿命延伸のカギは筋力～筋力・筋肉の最新の知見～

座長：篠田 邦彦(新潟大学)

演者：サルコペニア・フレイルと高齢者のWell-being

真田 樹義(立命館大学スポーツ健康科学部)

老後に備えて貯筋と貯金～使って貯めよう筋肉貯筋、使えば無くなるお金の貯金～

福永 哲夫(東京大学、早稲田大学、鹿屋体育大学)

ムキムキを目指すだけが筋トレではない：疾病・死亡リスクとの関連

門間 陽樹(東北大学大学院医学系研究科運動学分野)

シンポジウム26

11月1日(水) 10:50~11:40 第3会場(中ホール 200)

小児の睡眠教育2023

座長：兼板 佳孝(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学)
和田 裕雄(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学)

演者：子ども・青少年の睡眠改善への取り組み

駒田 陽子(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院)

ウェアラブルデバイスを用いた睡眠教育

南 陽一(東京大学大学院医学系研究科システムズ薬理学教室、ERATO 上田生体時間プロジェクト)

シンポジウム27

11月1日(水) 13:20~14:30 第3会場(中ホール 200)

激論! タバコ対策におけるホットトピックス

座長: 田淵 貴大(大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部)
尾崎 米厚(鳥取大学医学部医学科社会医学講座環境予防医学分野)

演者: 水タバコも含めたマルチプルタバコプロダクト使用の現状
山本 貴文(国立保健医療科学院生涯健康研究部)

加熱式タバコも含めたタバコの新型コロナウイルス感染・重症化リスク
浅井 一久(大阪公立大学大学院医学研究科呼吸器内科学)

日本でタバコのハームリダクションは可能か?
片野田耕太(国立がん研究センター)

たばこ対策のアドボカシー: 政策提言ファクトシートの紹介
中村 正和(公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター)

シンポジウム28

11月1日(水) 14:40~15:50 第3会場(中ホール 200)

健康危機に備えた自治体での連携体制の構築について~感染症を起点にマルチハザードへ

座長: 名越 究(鳥根大学医学部環境保健医学講座)
町田 宗仁(国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部)

演者: 健康危機管理における連携体制の構築—その意義と課題
富尾 淳(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

保健所が設置されている基礎自治体の有事の立ち位置と都道府県や関係諸機関との連携
越田 理恵(金沢市福祉健康局金沢市保健所)

健康危機における保健所の調整機能
藤田 利枝(長崎県県央保健所)

コロナ対応の経験を踏まえた健康危機管理体制の構築における保健所設置市の課題の考察
片岡 穰(さいたま市保健所)

シンポジウム29

11月1日(水) 16:00~16:50 第3会場(中ホール 200)

モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」

座長: 尾崎 米厚(鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

演者: 経口妊娠中絶薬の承認の是非について: 賛成、反対の立場から
後藤 あや(福島県立医科大学総合科学教育研究センター)
高橋美保子(埼玉医科大学医学部社会医学)

現金給付型少子化対策の是非~賛成・反対の立場から
吉田 都美(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野)
郡山 千早(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科疫学・予防医学)

シンポジウム30

11月1日(水) 8:30~9:20 第4会場(会議室 201)

ポジティブ心理を用いた疾病予防・健康増進の社会実装

座長：大平 哲也(福島県立医科大学医学部疫学講座)
白井こころ(大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座(公衆衛生学))

演者：日常生活での笑いとワーク・エンゲイジメント
島津 明人(慶應義塾大学総合政策学部)

笑いの健康効果：笑いの社会的利用の実装に向けて

竹内 研時(北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野、東北大学大学院歯学研究科歯学イノベーションリエゾンセンターデータサイエンス部門、宮城県保健福祉部)

安心して認知症になれる社会を目指して-認知症未来共創ハブとポジティブヘルス

堀田 聡子(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

シンポジウム31

11月1日(水) 9:30~10:20 第4会場(会議室 201)

実践と研究が織りなす保健所の公衆衛生感染症対策

座長：緒方 剛(茨城県潮来保健所)
田中 英夫(寝屋川市保健所)

演者：次のパンデミックを想定し都道府県が維持・強化すべき役割
田中 英夫(寝屋川市保健所)

パンデミック下で実地(現場)が果たすべきこと、備えるべきこと
砂川 富正(国立感染症研究所実地疫学研究センター)

保健所の新型コロナへの実践と感染症疫学研究が織りなす将来への備え 感染症疫学入門
緒方 剛(茨城県潮来保健所)

シンポジウム32

11月1日(水) 10:30~11:40 第4会場(会議室 201)

スポーツ・運動が育む健康的なコミュニティの推進とその課題

座長：大久保一郎(横浜市衛生研究所)
久野 譜也(筑波大学人間総合科学学術院)

演者：スポーツによる健康増進
和田 訓(スポーツ庁健康スポーツ課)

スポーツ・運動による健康増進事業の社会保障費抑制効果と効果検証時の課題

田邊 解(筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター、筑波大学体育系)

垂直展開を狙うキッズ健幸アンバサダー

塚尾 晶子(つくばウエルネスリサーチ)

スポーツ・運動が育む健康的なコミュニティの推進とその課題

野口 佳織(戸田市役所健康福祉部福祉保健センター成人保健担当)

シンポジウム33

11月1日(水) 9:20~10:30 第6会場(中ホール 300)

医療・介護供給体制において顕在化する高齢者の肺炎のマネジメント

座長：角野 文彦(滋賀県健康医療福祉部)
福島 若葉(大阪公立大学大学院医学研究科公衆衛生学)

演者：超高齢社会のわが国における高齢者の肺炎予防の重要性
宮下 修行(関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科)

医療・介護レセプト連結データを用いた高齢肺炎患者の医療介護サービス利用状況の分析
松田 晋哉(産業医科大学医学部公衆衛生学教室)

誤嚥性肺炎予防と歯科医療関係者の果たすべき役割 ～日本歯科医師会の取り組み～
小玉 剛(社会歯科学会)

肺炎球菌ワクチン接種の意義 ～最近の研究からみる有効性を踏まえて～
中島 啓(医療法人鉄蕉会亀田総合病院呼吸器内科)

シンポジウム34

11月1日(水) 10:40~11:50 第6会場(中ホール 300)

公衆衛生領域における薬局や薬剤師への期待 地域の事例を踏まえて

座長：川崎 直人(近畿大学薬学部)
多根井重晴(日本薬科大学薬学部)

演者：地域における薬剤師の活躍推進に向けて
太田 美紀(厚生労働省医薬・生活衛生局総務課)

地域の保健資源としての薬局、公衆衛生人材としての薬剤師の可能性
庄野あい子(昭和薬科大学薬学部)

ドラッグストア併設薬局における無料PCR等検査利用者の期待に関する調査
白山 祐輝(株式会社ツルハ)

コロナ禍の大阪で、薬局・薬剤師はいかに動いたのか ―自薬局の事例から―
狭間 研至(ファルメディコ株式会社)

シンポジウム35

11月1日(水) 14:00~14:50 第7会場(会議室 405)

領域横断的なフレイル・ロコモ克服の推進

座長：新開 省二(女子栄養大学栄養学部)
安田 誠史(高知大学医学部公衆衛生学教室)

演者：社会的側面に着目したフレイルに対するポピュレーションアプローチ
藤原 佳典(東京都健康長寿医療センター研究所)

フレイル・ロコモに対する公衆衛生的アプローチ
北村 明彦(八尾市保健所健康まちづくり科学センター、東京都健康長寿医療センター研究所)

フレイル・ロコモ対策のためのロコモの役割
大江 隆史(NTT東日本関東病院、ロコモ チャレンジ！推進協議会)

高齢者のフレイルとその予防対策
小川 純人(東京大学大学院医学系研究科老年病学)

シンポジウム36

11月2日(木) 8:30~10:00 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

措置制度から精神障害者の人権を考える

座長：柳 尚夫 (兵庫県豊岡保健所)
稲葉 静代 (岐阜県岐阜保健所)

演者：措置入院制度における保健所の役割と課題
柳 尚夫 (兵庫県豊岡保健所)

地域精神医療、危機介入における権利擁護とは
藤井 千代 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

措置入院制度改革を巡る複層的な問題とその解決に向けて～機関間連携と教育を中心に
椎名 明大 (千葉大学社会精神保健教育研究センター)

シンポジウム37

11月2日(木) 8:30~9:20 第2会場 (大会議室)

自治体における健康づくり事業の円滑な PDCA サイクルの循環を目指して

座長：月野木ルミ (東京医科歯科大学医学部保健衛生学科公衆衛生看護学分野)
丸山 広達 (愛媛大学大学院農学研究科地域健康栄養学分野、愛媛大学大学院医農融合公衆衛生学環)

演者：自治体の健康づくり計画における調査・評価に関して留意すべき基本的事項
横山 徹爾 (国立保健医療科学院生涯健康研究部)

今後の健康づくり計画策定とその評価における行政の課題-栄養摂取状況調査の観点から
瀧本 秀美 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所)

愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業を起点とした PDCA サイクル循環と今後の課題
入野 了士 (愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科)

シンポジウム38

11月2日(木) 9:30~10:20 第2会場 (大会議室)

皆がつながる温かい社会を目指す社会的処方 ～今公衆衛生に出来ることは？～

座長：岩室 紳也 (ヘルスプロモーション推進センター (オフィスいわむろ))
小橋 元 (獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)

演者：なぜ、公衆衛生で「つながり」が needs なのか
岩室 紳也 (ヘルスプロモーション推進センター (オフィスいわむろ))

お互いのできることを「し続けられる」環境づくり
佐々木亮平 (岩手医科大学教養教育センター人間科学科体育学分野)

図書館型地域共生拠点から広がる変化と活動
守本 陽一 (兵庫県豊岡保健所、一般社団法人ケアと暮らしの編集社)

社会的処方への期待
阿部 美子 (獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)

シンポジウム39

11月2日(木) 10:30~11:40 第2会場(大会議室)

第8次医療計画における新興感染症の予防計画の作成に向けて

座長：和田 耕治(日本公衆衛生協会)
国光あやの(衆議院議員、前総務大臣政務官)

演者：第8次医療計画における新興感染症対応
佐々木孝治(厚生労働省医政局地域医療計画課)

第8次医療計画における新興感染症対応
西塚 至(東京都保健医療局医療改革推進担当)

ロジックモデルを活用した新興感染症の地域医療計画
前村 聡(日本経済新聞社)

第8次医療計画における新興感染症対応
浅田留美子(大阪府健康医療部)

シンポジウム40

11月2日(木) 11:50~13:00 第2会場(大会議室)

リスクコミュニケーションの発展に向けて：COVID-19対応からの教訓を活かす

座長：蝦名 玲子(グローバルヘルスコミュニケーションズ、京都大学大学院医学研究科健康情報学分野)

演者：時相に応じた COVID-19対応のリスクコミュニケーションの振り返りと課題
阿南 英明(神奈川県庁、藤沢市民病院)

リスクコミュニケーション：公衆衛生大学院における取り組み
中山 健夫(京都大学大学院医学研究科健康情報学)

次のクライシスに向けた、メディアと医療界の課題
鈴木 敦秋(読売新聞東京本社医療部)

シンポジウム41

11月2日(木) 13:10~14:00 第2会場(大会議室)

みんなで進める地域での歯科保健活動の将来

座長：三浦 宏子(北海道医療大学歯学部保健衛生学分野)
福田 英輝(国立保健医療科学院)

演者：「歯・口腔の健康づくりプラン」の目指す方向性
和田 康志(厚生労働省医政局歯科保健課)

大規模コホートからみた口腔と全身の健康との関連性
小坂 健(東北大学大学院歯学研究科)

自治体における歯科健診受診率向上の取組
二宮 博文(港区みなと保健所健康推進課)

PDCAをPdCaにせず、pDcAですすめる健康日本21(第三次)
相田 潤(東京医科歯科大学健康推進歯学分野)

シンポジウム42

11月2日(木) 14:10~15:00 第2会場(大会議室)

公衆衛生活動に役立つ睡眠研究の最前線～実践と研究のシナジー～

座長：兼板 佳孝(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)
地家 真紀(昭和女子大学食健康科学部食安全マネジメント学科)

演者：Multidimensional Sleep health が公衆衛生の発展に果たす役割についての展望
降旗 隆二(京都大学学生総合支援機構)

睡眠時無呼吸症候群を公衆衛生から攻める

吉村 力(福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室、福岡大学病院呼吸器内科、福岡大学病院睡眠センター、福岡大学医学部呼吸睡眠医学講座)

日本の成人(勤労者)における睡眠と健康について

井谷 修(国際医療福祉大学医学部公衆衛生学)

シンポジウム43

11月2日(木) 15:10~16:00 第2会場(大会議室)

COVID-19水際対策の経験から検疫所と自治体との連携を考える

座長：奥村 二郎(近畿大学医学部環境医学・行動科学教室)
横塚 由美(東京検疫所羽田空港検疫所支所)

演者：国際空港における COVID-19の水際対策について
上野 健一(関西空港検疫所)

地方自治体からみた COVID-19対策における検疫所との連携
糸数 公(沖縄県保健医療部)

検疫法改正と今後の展望
垣本 和宏(大阪検疫所)

シンポジウム44

11月2日(木) 8:30~9:20 第3会場(中ホール 200)

子どもたちの人生を豊かに育むための地域連携 -家庭・児童養護施設・学校・地域・行政

座長：児玉 知子(国立保健医療科学院公衆衛生政策研究部)
廣末 ゆか(住民とともに活動する保健師の会、高知学園短期大学)

演者：地域が連携し行う「子どもたちの人生を豊かに育む教育」の実践
渡會 睦子(東京医療保健大学医療保健学部、東京医療保健大学医療保健学部地域健康づくり教育・研究センター、住民とともに活動する保健師の会)

紙芝居で伝える「生きるための心を伝える教育」の効果
會田 健司(児童養護施設山形学園)

養護形態と子どもの「最善の利益」概念-近時の政策動向から
三上 佳介(鹿児島大学法文学部法経社会学科)

シンポジウム45

11月2日(木) 9:30~10:20 第3会場(中ホール 200)

インターネット上の健康情報の信頼性向上にむけて

座長：中山 健夫(京都大学大学院医学研究科健康情報学)
黒田 知宏(京都大学医学部附属病院医療情報企画部)

演者：コロナ禍におけるインターネット上の健康情報探索行動
高橋 由光(京都大学大学院医学研究科健康情報学)

YouTubeの信頼できる医療/健康情報に関する取り組み
片倉 陽子(グーグル合同会社)

メディカルノートの"共創"-インフォデミック時代を乗り越えるために
井上 祥(株式会社メディカルノート)

ChatGPTなどのAI技術が健康情報に及ぼす影響
荒牧 英治(奈良先端科学技術大学院大学)

シンポジウム46

11月2日(木) 10:30~11:40 第3会場(中ホール 200)

親子保健・学校保健における孤独・孤立の影響

座長：鈴木 孝太(愛知医科大学医学部衛生学講座)
横山 美江(大阪公立大学大学院看護学研究科)

演者：伴走型相談支援を充実させる：島田市版ネウボラの取り組み
鈴木 仁枝(静岡県島田市役所)

妊娠・出産・子育て期の母親の孤独・孤立にどう向き合うか
横山 美江(大阪公立大学大学院看護学研究科)

チャット相談から見える児童生徒の孤独・孤立の実情
大空 幸星(特定非営利活動法人あなたのいばしょ)

シンポジウム47

11月2日(木) 11:50~13:00 第3会場(中ホール 200)

エコチル調査：分かったことと、これからと、公衆衛生への貢献

座長：玉腰 暁子(北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学)
山崎 新(国立環境研究所エコチル調査コアセンター)

演者：エコチル調査のこれまでの成果と今後の展開
上島 通浩(名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学分野)

13歳以降の調査の母子保健に関わる意識
山縣然太郎(山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座)

環境、化学物質に関するコホート調査の進め方を中心に
野見山哲生(信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室)

環境疫学での人材育成・教育のプラットフォームとしてのエコチル調査への期待
玉腰 暁子(北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学)

シンポジウム48

11月2日(木) 13:10~14:00 第3会場(中ホール 200)

コロナ禍における高齢者の保健・医療・福祉の動向

座長：渡辺修一郎(桜美林大学大学院国際学術研究科老年学学位プログラム)
石崎 達郎(東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム)

演者：コロナ禍における高齢者の身体活動・社会参加の動向と対策
清野 諭(東京都健康長寿医療センター研究所)

オープンデータからみたコロナ禍における高齢者の受療動向
大坪 徹也(横浜市立大学国際商学部)

コロナ禍初期の市民調査からみたジェンダー格差
島本太香子(奈良大学社会学部総合社会学科、奈良県立医科大学産婦人科)

シンポジウム49

11月2日(木) 14:10~15:00 第3会場(中ホール 200)

子どもを取り巻く環境と保健サービス

座長：甲田 勝康(関西医科大学医学部)
森田 明美(鳥取大学医学部社会医学講座健康政策医学分野)

演者：胎児期のカドミウム曝露が子どもの発達に影響を与える影響
増本 年男(鳥取大学医学部社会医学講座健康政策医学分野)

こどもの Wellbeing を向上させるためには親の Wellbeing や親を取り巻く環境にも着目を
竹原 健二(国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部、国立成育医療研究センターこどもシンクタンク)

子どもの食育における学校給食の役割
饗場 直美(神奈川工科大学健康医療科学部管理栄養学科)

学齢期からの生活習慣病予防の試行
甲田 勝康(関西医科大学医学部)

シンポジウム50

11月2日(木) 15:10~16:00 第3会場(中ホール 200)

災害・新型コロナウイルス感染症対策から今後の現場と大学のシナジー効果を探る

座長：渡會 睦子(東京医療保健大学医療保健学部、東京医療保健大学医療保健学部地域健康づくり教育・研究センター、住民とともに活動する保健師の会)

演者：今後の備えとしてふりかえろう！ 大震災&コロナ禍での活動
末永カツ子(仙台青葉学院短期大学看護学科、東北大学名誉教授、前長崎大学・福島県立医科大学共同大学院災害公衆衛生看護学)

危機管理時(災害・感染症など)の危機対応と地域保健活動の可能性
佐野 ゆり(仙台市健康福祉局保健衛生部健康政策課)

新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた地域における健康危機管理の体制整備
五十嵐久美子(厚生労働省健康局健康課保健指導室)

シンポジウム51

11月2日(木) 8:30~9:20 第4会場(会議室 201)

HPV ワクチンの正確な理解は一般の方々に広まったのか? ~積極的勧奨再開から1年半~

座長: 中山 富雄(国立がん研究センターがん対策研究所)
伊藤 ゆり(大阪医科薬科大学医療統計室)

演者: HPV ワクチンの現状

上田 豊(大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学)

全国自治体調査と自治体の保健師支援の事例報告~勧奨再開後の地域間格差~

片山佳代子(国立大学法人群馬大学情報学部、神奈川県立がんセンター臨床研究所がん教育ユニット)

HPV ワクチン積極的勧奨再開後の西宮市での取り組み

福田 典子(西宮市健康福祉局保健所)

HPV ワクチンを「当たり前」に NHK「#がんの誤解」取材現場からの報告

藤松翔太郎(NHK 首都圏局首都圏放送センター、認定 NPO 法人 deleteC)

シンポジウム52

11月2日(木) 9:30~10:20 第4会場(会議室 201)

身体活動の推進のためのポピュレーション戦略と環境整備

座長: 澤田 亨(早稲田大学スポーツ科学学術院)
天笠 志保(帝京大学大学院公衆衛生学研究科、東京医科大学公衆衛生学分野)

演者: 身体活動支援環境を考える上でのフレームワークの提案

井上 茂(東京医科大学公衆衛生学分野)
菊池 宏幸(東京医科大学公衆衛生学分野)

都市構造と身体活動-物理的環境の視点から

中谷 友樹(東北大学大学院環境科学研究科)

身体活動を促す社会的環境

近藤 克則(千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門、国立長寿医療研究センター研究所
老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部)

シンポジウム53

11月2日(木) 10:30~11:40 第4会場(会議室 201)

自治体管理栄養士の行政能力向上に求められるスキル習得と認定制度のあり方を考える

座長: 由田 克士(大阪公立大学大学院生活科学研究科食栄養学分野公衆栄養学)
磯部 澄枝(新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部(新潟県南魚沼保健所))

演者: 行政能力向上に求められる新しいスキル~厚生労働省に出向して学んだこと~

森川 渚(福井県健康福祉部健康医療局健康政策課)

自治体管理栄養士の研修体制の現状と課題

赤堀 摩弥(静岡県東部健康福祉センター)

誰一人取り残さない栄養政策推進のための行政管理栄養士の人材育成体制構築に向けて

渡邊 瑞穂(山梨県富士・東部保健福祉事務所)

「公衆衛生専門管理栄養士(仮称)認定制度」の創設に向けて

諸岡 歩(公益社団法人日本栄養士会)

シンポジウム54

11月2日(木) 11:50~13:00 第6会場(中ホール 300)

増加する大規模な風水災害に対する社会のレジリエンスを高める

座長：高鳥毛敏雄(関西大学社会安全学部・社会安全研究科)
宮崎美砂子(千葉大学大学院看護学研究院)

演者：線状降水帯の観測・予測技術と予測情報の利用
岩波 越(防災科学技術研究所)

令和2年7月豪雨の経験を踏まえた球磨圏域の災害時保健医療福祉活動の取組みと課題
服部希世子(熊本県人吉保健所)

災害時の被災者の健康支援に関する活動と体制の到達点
奥田 博子(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

超高齢社会における被災者の包括的支援の到達点ー保健医療福祉の包括的広域連携ー
尾島 俊之(浜松医科大学健康社会医学講座)

シンポジウム55

11月2日(木) 13:10~14:00 第6会場(中ホール 300)

孤立・孤独問題に対する公衆衛生学的アプローチ

座長：太刀川弘和(筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター)

演者：孤立・孤独の概念整理
太刀川弘和(筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター)

孤立・孤独の社会調査
相羽 美幸(東洋学園大学人間科学部)

孤立・孤独への心理社会的アプローチ
翠川 晴彦(筑波大学附属病院精神神経科)

孤立・孤独への福祉的アプローチ:「どこでもドアモデル」構築を目指して
近藤 尚己(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野)

シンポジウム56

11月2日(木) 14:10~15:40 第6会場(中ホール 300)

健康・医療・介護・福祉の行政計画におけるロジックモデルと指標の展開

座長：今村 知明(奈良県立医科大学公衆衛生学講座)
埴岡 健一(国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野)

演者：健康・医療・福祉の計画におけるロジックモデルと指標の展開の概観
吉田 真季(地域医療計画評価ネットワーク、医療経済研究機構)

がん計画と健康計画におけるロジックモデルと指標の展開
大井久美子(奈良県吉野保健所健康増進課)

医療計画と循環器病対策推進計画におけるロジックモデルと指標の活用
高嶺 公子(沖縄県庁)

介護保険・地域包括ケアシステム分野のロジックモデルの開発と活用の試み
松本 佳子(医療経済研究機構)

シンポジウム57

11月2日(木) 11:50~12:40 第8会場(会議室 406)

第一次産業(農業)が抱える健康問題—食を支える人の安全

座長: 山本 秀樹(帝京大学薬学部環境衛生学研究室(大学院公衆衛生学研究科))
堀 愛(筑波大学医学医療系国際社会医学研究室)

産業衛生の視点からみた第一次産業従事者の公衆衛生上の課題
横山 和仁(国際医療福祉大学大学院公衆衛生学専攻)

法医解剖からみた農業関連死
宮石 智・山崎 雪恵(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科法医学分野)

農作業事故の実態調査と安全対策の課題
大浦 栄次((一財)富山県農村医学研究所、(一社)日本農村医学会農機具災害部会)

地方衛生研究所研修フォーラム

10月31日(火) 10:20~11:50 第8会場(会議室 406)

地域保健法・感染症法等の改正および新機構設立の目指すもの

座長: 四宮 博人(愛媛県立衛生環境研究所)
吉村 和久(東京都健康安全研究センター)

演者: 地方衛生研究所等の健康危機管理体制の強化に向けた制度改正について
山本 英紀(厚生労働省健康局健康課)

国立健康危機管理研究機構の設立に向けて
脇田 隆字(国立感染症研究所)

新興感染症に備えた保健所機能強化と人材育成
内田 勝彦(大分県東部保健所)

地方衛生研究所の法制化と対応について
四宮 博人(愛媛県立衛生環境研究所)

奨励賞受賞講演

11月1日(水) 15:50~16:50 第2会場(大会議室)

座長: 玉腰 暁子(北海道大学大学院医学研究院社会医学分野公衆衛生学教室)
安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)

演者: 保健師の健康危機管理の職能開発およびキャリア継続に関する実践と研究
井口 理(日本赤十字看護大学)

公的統計・医療ビッグデータを活用した健康格差と医療の質に関する俯瞰的研究
田中 宏和(国立がん研究センターがん対策研究所データサイエンス研究部)

運動・スポーツに着目した地域づくり型介護予防の推進方略と効果評価に関する研究
辻 大士(筑波大学体育系、千葉大学予防医学センター)

グローバル化時代における保健所の機能強化と国際社会への貢献に関する研究
矢野 亮佑(盛岡市保健所)

座長：山縣然太郎(山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座)
山海 知子(筑波大学医学医療系地域健康・公衆衛生看護学)

演者：多目的コホート研究における趣味と要介護認知症との関連
松村 拓実(近畿大学医学部公衆衛生学教室、大阪大学)

KDBより把握した医療・健診受診状況とフレイルの関連:大和市の悉皆調査による横断研究
石田 幸枝(大和市役所健康福祉部健康づくり推進課)

地域歯科検診事業が成人住民の歯科利用促進に与える効果の検証:差分の差解析
石丸 美穂(東京医科歯科大学、筑波大学)

後期高齢者における口腔機能と認知症発症との関連:2年間の縦断研究
岩井 浩明(朝日大学歯学部口腔感染医療学講座社会口腔保健学分野)

地域在住高齢者における身体活動と認知症発症との関連:多時点観察データを用いた検討
根本 裕太(東京都健康長寿医療センター研究所)

高齢者における震災直後の転居と精神的健康の推移:熊本地震前後の中長期追跡調査
松岡 洋子(千葉大学予防医学センター、京都大学大学院医学研究科社会疫学分野)

自治体での発育性股関節形成不全のスクリーニング及び保健指導の実態
本田千可子(東京大学大学院医学系研究科地域看護学教室)

小児における睡眠呼吸障害と持続的注意力との関連
朱 沁曄(順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座)

感謝の頻度と生活習慣病との関連
濱口 雄飛(福島県立医科大学医学部疫学講座)

大量機会飲酒を考慮した、飲酒と循環器疾患との関連:JACC study
高田 碧(大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部疫学解析研究課、筑波大学医学医療系社会健康医学研究室)

COVID-19感染予防コンサルテーション:クラスター化阻止の換気評価と改善(第3報)
武藤 剛(北里大学医学部衛生学、千葉大学予防医学センター/Design Research Institution)

一般集団におけるオミクロン株の罹患後症状の実態調査:品川区住民アンケート調査
射場 在紗(国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター)

ダブルケア(子育て、介護)とがん検診未受診との関連:国民生活基礎調査より
鈴木 有佳(慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室、大阪医科薬科大学医学部社会・行動科学教室)

座長 : Yoshiharu Fukuda (Teikyo University)
Yukiko Wagatsuma (University of Tsukuba)
Makiko Sekiyama (National Institute for Environmental Studies)
Tomofumi Sone (National Institute of Public Health)
Maki Taniguchi (Tokyo Medical and Dental University)
Keiko Nakamura (Tokyo Medical and Dental University)

演者 : Persistence of symptoms at 6 months post COVID-19: a prospective cohort study
Tok Peter Seah Keng (Institute for Clinical Research, National Institutes of Health, Ministry of Health Malaysia)

The Burden of Liver Cancer in Mongolia from 1990 to 2019: GBD 2019 Analysis
Batsaikhan Oyundari (Hiroshima University, Department of Public Health and Health Policy)

Salt intake traits, hypertension and blood pressure measurement in Afghan adults
Halimzai Iftikhar (Tokyo Medical and Dental University)

A Photovoice Study on Malaria Prevention in Rural Communities in Sabah
Naserrudin Nurul Athirah (Department of Public Health Medicine, Universiti Kebangsaan Malaysia)

Needs to expand the activities of Peer-counselling in Mongolia
Tsogzolbaatar Enkh-Oyun (Mongolian National University of Mongolia)

Psychosocial Antecedents of Sexual Intention in Filipino Teens
Rivera Ana Kriselda (Tokyo Medical and Dental University, University of the Philippines Manila)

Operational practice in coordinating seamless care: a primary care perspective
Vo Thi Hue Man (College of Public Health Sciences, Chulalongkorn University)

Why do women deliver at home in Myanmar?
Khaing Inn Kynn (Hiroshima University, Graduate School of Biomedical and health science, Department of Public Health and Health Policy)

Breastfeeding and hospital admissions during childhood
Yon Dong Keon (Center for Digital Health, Kyung Hee University)

公開シンポジウム

11月2日(木) 14:00~16:00 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

これから医師を目指す高校生・医学生に知っておいてもらいたいこと
—みんなの健康を目指す学会「日本公衆衛生学会」茨城より発信—

座長：磯 博康 (国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター)

演者：研修医から見る公衆衛生の魅力
森本 健太 (筑波大学附属病院)

茨城県の医師確保対策について
小野 幸子 (茨城県保健医療部医療局医療人材課)

明日の医療の基盤を調える～保健・医療行政に携わる医師としての仕事～
木庭 愛 (こども家庭庁成育局母子保健課)

臨床と公衆衛生とのクロスキャリアのすすめ
杉山 雄大 (国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

医学生の進路としての予防医学
山岸 良匡 (筑波大学医学医療系社会健康医学)

ランチオンセミナー1

10月31日(火) 12:10~13:10 第1会場 (Leo Esaki メインホール)

ワクチンの基礎知識 -日本人のワクチン不信に対応策はあるのか-

座長：上原 由紀 (藤田医科大学感染症科臨床教授)
演者：内藤 俊夫 (順天堂大学総合診療科教授)
共催：モデルナ・ジャパン株式会社

ランチオンセミナー2

10月31日(火) 12:10~13:10 第2会場 (大会議室)

夜間休日診療における診診連携等の取り組みと今後の活用に向けた検討

座長：森 隆浩 (国際医療福祉大学医学部教授、国際医療福祉大学成田病院総合診療科部長)
演者：孫 瑜 (筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野助教、筑波大学地域医療教育学)
菊池 亮 (ファストドクター株式会社)
共催：ファストドクター株式会社

ランチオンセミナー3

10月31日(火) 12:10~13:10 第3会場 (中ホール 200)

WHOによる携帯電話のリスク評価

座長：高田 雄史 (一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター)
演者：大久保千代次 (一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター所長)
共催：一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター

ランチオンセミナー4

10月31日(火) 12:10~13:10 第4会場(会議室 201)

プログラム医療機器開発におけるウェアラブル・デバイスデータ活用の課題とデジタルバイオマーカー開発の実践的取組み

座長：泉 啓介(株式会社テックドクター取締役、慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科)

演者：ウェアラブル・デバイスを用いた研究の法政策上の課題と期待

藤田 卓仙(慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室特任准教授)

ウェアラブルデバイスや機械学習を用いたうつ病、認知症診断支援プログラム開発の実際

岸本泰士郎(慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同講座特任教授)

共催：株式会社テックドクター

ランチオンセミナー5

10月31日(火) 12:10~13:10 第6会場(中ホール 300)

新型コロナ肺炎の臨床像と今後の対策について

座長：磯 博康(国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター)

演者：宮下 修行(関西医科大学内科学第一講座呼吸器感染症・アレルギー科教授)

共催：武田薬品工業株式会社

ランチオンセミナー6

11月1日(水) 12:05~13:05 第2会場(大会議室)

冬に向けた新型コロナウイルス対策、臨床と公衆衛生を繋いで：札幌市のデータ発信

座長：久保 達彦(広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学)

演者：岸田 直樹(一般社団法人 Sapporo Medical Academy 代表理事)

共催：ファイザー株式会社 メディカル・アフケアーズ部

ランチオンセミナー7

11月1日(水) 12:05~13:05 第3会場(中ホール 200)

公衆衛生大学院教育と人材育成－今こそ必要な MPH とキャリア形成－

座長：福田 吉治(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

井上まり子(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

対談：MPH プログラムでの学びについての個人的回顧録

田宮菜奈子(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野)

橋本 英樹(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻)

共催：帝京大学、帝京大学医師会

ランチオンセミナー8

11月1日(水) 12:05~13:05 第4会場(会議室 201)

地域医療と公衆衛生の協働－地域医療振興協会の活動－

座長：宇田 英典(公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センターシニアアドバイザー)

演者：へき地で診療している医師についての日米共同調査

佐々木 航(公益社団法人地域医療振興協会今泉記念館ゆきあかり診療所管理者)

診療所における QI(医療の質改善)活動

西村 正大(公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所管理者)

共催：公益社団法人地域医療振興協会

ランチョンセミナー9

11月1日(水) 12:05~13:05 第5会場(会議室 202)

サイバニクス革命：公衆衛生を支える「サイバニクス医療健康イノベーション」最前線

座長：中田 善規(帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授)

演者：山海 嘉之(CYBERDYNE 株式会社代表取締役社長/CEO、筑波大学サイバニクス研究センター研究統括/教授、筑波大学未来社会工学開発研究センター(F-MIRAI)センター長、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)プログラムディレクター)

共催：CYBERDYNE 株式会社

ランチョンセミナー10

11月1日(水) 12:05~13:05 第6会場(中ホール 300)

睡眠健診と今後の展望

座長：谷川 武(順天堂大学大学院教授、順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学教室)

演者：宮原 禎(株式会社 ACCELStars 代表取締役)

共催：株式会社 ACCELStars

スポンサードセッション

10月31日(火) 16:40~17:40 第2会場(大会議室)

医学情報発信を巡る国内外の動向：研究者が知るべきこと

座長：中山 健夫(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻)

演者：北村 聖(東京大学名誉教授、日本医学会日本医学雑誌編集組織委員会委員長)

共催：YouTube Health

意見交換会

11月1日(水) 19:00~21:00 (1F ホワイエ)

第82回日本公衆衛生学会総会記念「第九」特別演奏会

11月1日(水) 17:00~18:00 (1F ホワイエ)

音楽監督・指揮：佐藤 宏之

ソプラノ：竹下 裕美

アルト：三宮 美穂

テノール：松原 陸

バス：井出壮志郎

合唱指導：佐藤あけみ

堀部 一寿

合唱：第82回日本公衆衛生学会総会記念「第九」合唱団

演奏：東京ロイヤルフィルハーモニー管弦楽団